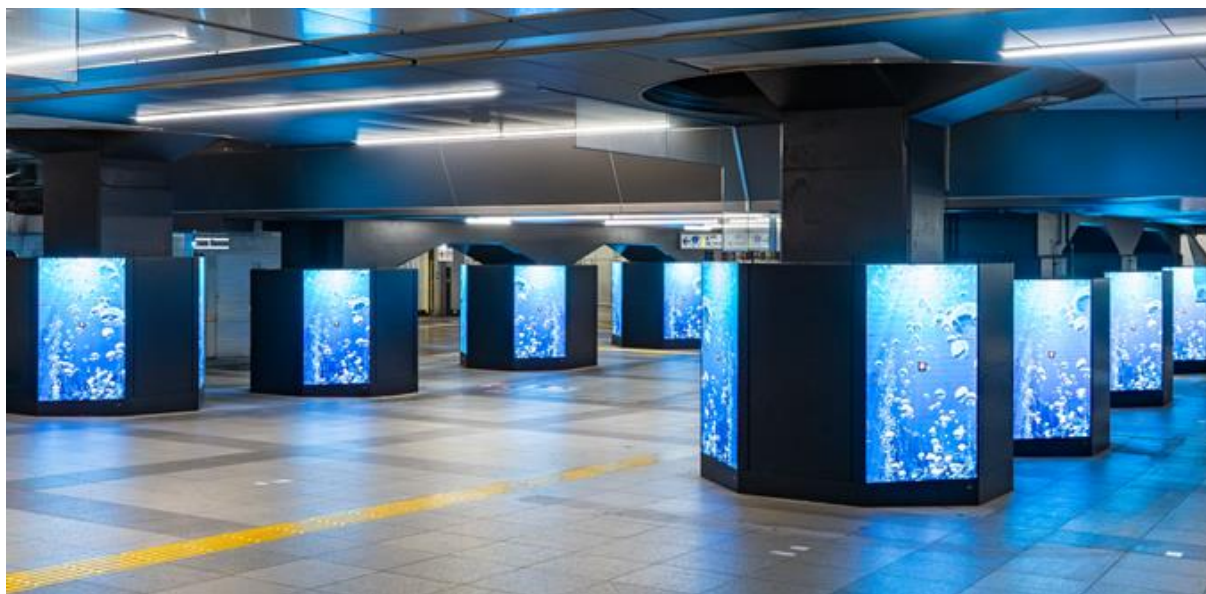


秋葉原駅にイマーシブなメディア空間 「AKIBA WARP」誕生！ ～最初の放映は株式会社 Yostar「ブルーアーカイブ」！～



株式会社ジェイアール東日本企画(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:赤石 良治)は、JR 東日本グループが掲げる『Beyond Stations 構想※』に基づいた新機軸のメディア開発を進めておりますが、この度 JR 秋葉原駅において「AKIBA WARP(アキバワープ)」の運用を4月7日から開始いたしました。

- 当媒体は、八角形の8本の柱に各4面ずつ計32面の縦型デジタルサイネージを配置しています。さらにオプションとして、8本の柱に各3面ずつの合計24面の柱シート広告、天井下がり壁部分のオデコシート広告、床面のフロアシート広告が展開でき、よりイマーシブな世界観の演出が可能です。
- 「AKIBA WARP」では、①先行開業した「AKIBA“CAP”」にも登場した共通モチーフである「ラッコ」が躍動するコンテンツ、②一般社団法人千代田区観光協会と連携し千代田区のまちの魅力を描いたコンテンツの2種類のオリジナルコンテンツを放映します。
- 開業後初回の広告放映は、株式会社 Yostar の「ブルーアーカイブ」の広告です。

※『Beyond Stations構想』については右記をご参照ください。 https://www.jreast.co.jp/press/2020/20210303_ho04.pdf

■ 媒体詳細

媒体名称: AKIBA WARP

※連なるビジョンとシートから構成される8本の柱を通り抜ける体感、異世界にワープしたかのようなワクワクする空間であることを表現しました。

サイズ:サイネージ W1.01m×H1.80m×32 面

柱シート W0.93m×H1.80m×24 面

オデコシート W18.53m×H0.95m×1 面

フロアシート W5.0m×D5.0m×1 面

放映形式: 広告枠 4 分ロール放映

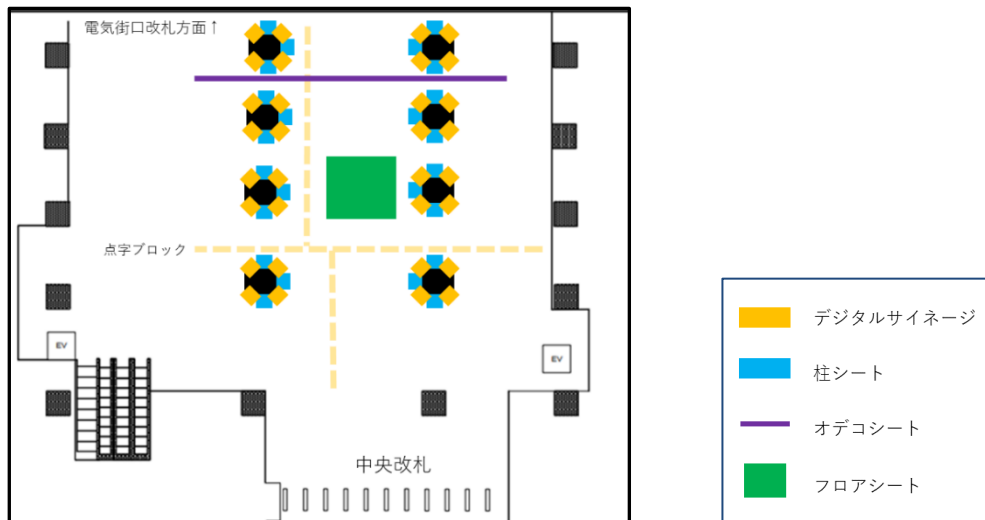
4 分中 3 分間広告放映、1 分間コンテンツ等の放映

仕様:サイネージ LED ディスプレイ(ドットピッチ 0.9mm)

放映時間:5:00~24:00

音声:放送可

■ 位置図



■ 放映コンテンツについて

多面体に囲まれた映像空間での臨場感あふれるメディア体感を提供する「AKIBA WARP」の特性を活かして、2 種類のオリジナルコンテンツを放映いたします。

i. 秋葉原駅と異世界をつないで躍動する「ラッコ」コンテンツ

秋葉原の魅力を思い切り楽しむラッコが秋葉原駅を訪れた人々をかわいくお迎えし、映像空間をワープしながら躍動して癒しと驚きを提供する映像コンテンツです。



「AKIBA WARP」映像コンテンツで皆様をお迎えする「ラッコ」は先行開業した「AKIBA “CAP”」のオリジナルコンテンツと共通のモチーフです。



- ii. 一般社団法人千代田区観光協会と連携した千代田区のまちの魅力を紹介するコンテンツ
一般社団法人千代田区観光協会と連携し、美しいフォト作品を活用して千代田区のまちの魅力をスタイリッシュに紹介する映像コンテンツです。訪日外国人旅行者の方に、電車での近隣周遊を楽しんでいただくための魅力的な観光スポット紹介も行います。

